

訂正箇所	正誤区分	訂正区分						
<p>特記仕様書 54頁</p>	<p>誤</p>	<p>22-17 親杭横矢板工 22-17-1 定義 親杭横矢板工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、親杭及び横矢板等の山留めを施工することをいう。 22-17-2 種別 親杭横矢板工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置工A</td> <td>Cランプ側既設土留壁撤去のため既設Cランプ上部にライナープレート式土留工により親杭横矢板を施工するもの。 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板A（木製横矢板 t = 40 ~ 70）の設置 ・土留板B（軽量鋼矢板 LSP-3A, 3B, 3C, 5）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費</td> </tr> <tr> <td>設置工B</td> <td>避難階段部施工のため既設Cランプ接続部に親杭横矢板を施工するもの。 上部：ライナープレート式土留工による親杭横矢板の施工 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板（木製横矢板 t = 50 ~ 80）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・上部土留板（H-150×150）及び上部土留鋼板（t = 16）の設置 ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費 下部：リーダー式ケーシング回転掘削工法による親杭の施工 ・リーダー式ケーシング回転掘削工法による掘削、親杭の建込及び埋戻し ・下部土留板（H-100×100）及び下部土留鋼板（t = 12）の設置</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	設置工A	Cランプ側既設土留壁撤去のため既設Cランプ上部にライナープレート式土留工により親杭横矢板を施工するもの。 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板A（木製横矢板 t = 40 ~ 70）の設置 ・土留板B（軽量鋼矢板 LSP-3A, 3B, 3C, 5）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費	設置工B	避難階段部施工のため既設Cランプ接続部に親杭横矢板を施工するもの。 上部：ライナープレート式土留工による親杭横矢板の施工 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板（木製横矢板 t = 50 ~ 80）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・上部土留板（H-150×150）及び上部土留鋼板（t = 16）の設置 ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費 下部：リーダー式ケーシング回転掘削工法による親杭の施工 ・リーダー式ケーシング回転掘削工法による掘削、親杭の建込及び埋戻し ・下部土留板（H-100×100）及び下部土留鋼板（t = 12）の設置
単価表の項目	区分内容							
設置工A	Cランプ側既設土留壁撤去のため既設Cランプ上部にライナープレート式土留工により親杭横矢板を施工するもの。 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板A（木製横矢板 t = 40 ~ 70）の設置 ・土留板B（軽量鋼矢板 LSP-3A, 3B, 3C, 5）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費							
設置工B	避難階段部施工のため既設Cランプ接続部に親杭横矢板を施工するもの。 上部：ライナープレート式土留工による親杭横矢板の施工 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板（木製横矢板 t = 50 ~ 80）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・上部土留板（H-150×150）及び上部土留鋼板（t = 16）の設置 ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費 下部：リーダー式ケーシング回転掘削工法による親杭の施工 ・リーダー式ケーシング回転掘削工法による掘削、親杭の建込及び埋戻し ・下部土留板（H-100×100）及び下部土留鋼板（t = 12）の設置							
	<p>正</p>	<p>22-17 親杭横矢板工 22-17-1 定義 親杭横矢板工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、親杭及び横矢板等の山留めを施工することをいう。 22-17-2 種別 親杭横矢板工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置工A</td> <td>Cランプ側既設土留壁撤去のため既設Cランプ上部にライナープレート式土留工により親杭横矢板を施工するもの。 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・本特記仕様書6-2に示す自工区外盛土場への掘削土の運搬 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板A（木製横矢板 t = 40 ~ 70）の設置 ・土留板B（軽量鋼矢板 LSP-3A, 3B, 3C, 5）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費</td> </tr> <tr> <td>設置工B</td> <td>避難階段部施工のため既設Cランプ接続部に親杭横矢板を施工するもの。 上部：ライナープレート式土留工による親杭横矢板の施工 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込 ・本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板（木製横矢板 t = 50 ~ 80）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・上部土留板（H-150×150）及び上部土留鋼板（t = 16）の設置 ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費 下部：リーダー式ケーシング回転掘削工法による親杭の施工 ・リーダー式ケーシング回転掘削工法による掘削、親杭の建込及びモルタルによる埋戻し ・下部土留板（H-100×100）、下部土留鋼板（t = 12）の設置及び設置時のモルタルの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	区分内容	設置工A	Cランプ側既設土留壁撤去のため既設Cランプ上部にライナープレート式土留工により親杭横矢板を施工するもの。 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・本特記仕様書6-2に示す自工区外盛土場への掘削土の運搬 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板A（木製横矢板 t = 40 ~ 70）の設置 ・土留板B（軽量鋼矢板 LSP-3A, 3B, 3C, 5）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費	設置工B	避難階段部施工のため既設Cランプ接続部に親杭横矢板を施工するもの。 上部：ライナープレート式土留工による親杭横矢板の施工 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込 ・本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板（木製横矢板 t = 50 ~ 80）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・上部土留板（H-150×150）及び上部土留鋼板（t = 16）の設置 ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費 下部：リーダー式ケーシング回転掘削工法による親杭の施工 ・リーダー式ケーシング回転掘削工法による掘削、親杭の建込及びモルタルによる埋戻し ・下部土留板（H-100×100）、下部土留鋼板（t = 12）の設置及び設置時のモルタルの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分
単価表の項目	区分内容							
設置工A	Cランプ側既設土留壁撤去のため既設Cランプ上部にライナープレート式土留工により親杭横矢板を施工するもの。 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・本特記仕様書6-2に示す自工区外盛土場への掘削土の運搬 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板A（木製横矢板 t = 40 ~ 70）の設置 ・土留板B（軽量鋼矢板 LSP-3A, 3B, 3C, 5）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費							
設置工B	避難階段部施工のため既設Cランプ接続部に親杭横矢板を施工するもの。 上部：ライナープレート式土留工による親杭横矢板の施工 ・ライナープレート式土留工による掘削 ・増打ちコンクリート施工部の既設防水シート及び保護コンクリートの撤去、積込 ・本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分 ・後施工アンカーの施工 ・増打ちコンクリート（コンクリート、型わく、鉄筋）の施工 ・増し打ちコンクリート部の防水工の施工 ・敷鉄板及び親杭（H形鋼）の建込（H形鋼の継ぎ施工を含む） ・土留板（木製横矢板 t = 50 ~ 80）の設置 ・購入材料（流動化処理土）によるライナープレート撤去時の埋戻し ・上部土留板（H-150×150）及び上部土留鋼板（t = 16）の設置 ・函体施工完了後の親杭（H形鋼）頭部GL-1.0m分の切断、撤去、スクラップ費 下部：リーダー式ケーシング回転掘削工法による親杭の施工 ・リーダー式ケーシング回転掘削工法による掘削、親杭の建込及びモルタルによる埋戻し ・下部土留板（H-100×100）、下部土留鋼板（t = 12）の設置及び設置時のモルタルの撤去、積込、本特記仕様書18-2に示す再資源化施設への運搬、処分							

訂正箇所	正誤区分	訂正区分								
特記仕様書 55頁	誤	<p>22-17-3 材 料</p> <p>(1) 親杭横矢板工に使用する鋼材はJIS G 3101に基づくSS400とし、新品を使用するものとする。</p> <p>なお、鋼材の規格証明書（ミルシート）を入荷の都度、監督員に提出するものとする。</p> <p>(2) 親杭横矢板工に使用する流動化処理土の品質規定は、本特記仕様書22-3-1 盛土工(2)材料に示すものとする。</p> <p>22-17-4 施 工</p> <p>(1) 親杭横矢板工の施工中に予期しない転石等に遭遇し施工が困難となった場合は、直ちに監督員に報告しなければならない。この際、監督員が工法等の変更を指示した場合、受注者はこの指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>22-17-5 数量の検測</p> <p>親杭横矢板工の数量の検測は、設計（壁面積）数量（㎡）で行うものとする。</p> <p>22-17-6 支 払</p> <p>親杭横矢板工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う親杭横矢板工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><u>単価表の項目</u></th> <th style="text-align: center;"><u>検測の単位</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">特一（5） 親杭横矢板工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">設置工A</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">設置工B</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> </tr> </tbody> </table>	<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>	特一（5） 親杭横矢板工		設置工A	㎡	設置工B	㎡
<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>									
特一（5） 親杭横矢板工										
設置工A	㎡									
設置工B	㎡									
	正	<p>22-17-3 材 料</p> <p>(1) 親杭横矢板工に使用する鋼材はJIS G 3101に基づくSS400とし、新品を使用するものとする。</p> <p>なお、鋼材の規格証明書（ミルシート）を入荷の都度、監督員に提出するものとする。</p> <p>(2) 親杭横矢板工に使用する流動化処理土の品質規定は、本特記仕様書22-3-1 盛土工(2)材料に示すものとする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(3) 親杭横矢板工のうちリーダー式ケーシング回転掘削工法に使用する材料はモルタル1：3とする。配合強度は、設計基準強度以上とし、打設時に試料を採取し、一軸圧縮強度試験を行うもの。</p> </div> <p>22-17-4 施 工</p> <p>(1) 親杭横矢板工の施工中に予期しない転石等に遭遇し施工が困難となった場合は、直ちに監督員に報告しなければならない。この際、監督員が工法等の変更を指示した場合、受注者はこの指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>22-17-5 数量の検測</p> <p>親杭横矢板工の数量の検測は、設計（壁面積）数量（㎡）で行うものとする。</p> <p>22-17-6 支 払</p> <p>親杭横矢板工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には設計図書及び監督員の指示に従って行う親杭横矢板工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><u>単価表の項目</u></th> <th style="text-align: center;"><u>検測の単位</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">特一（5） 親杭横矢板工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">設置工A</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">設置工B</td> <td style="text-align: center;">㎡</td> </tr> </tbody> </table>	<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>	特一（5） 親杭横矢板工		設置工A	㎡	設置工B	㎡
<u>単価表の項目</u>	<u>検測の単位</u>									
特一（5） 親杭横矢板工										
設置工A	㎡									
設置工B	㎡									